

**目的** 一般社団法人岐阜県建設業協会が定めた「OBサポーター」が、年間を通じ効果的な活動を行うために、県内工業系高校教員との意見交換会を開催する。



**効果** 建設企業で働く若手技術者等の様々な意見を聞き、その意見を教員の方々がそれぞれの学校に持ち帰り、先輩達が頑張っている姿を生徒に伝えていただくことにより、一人でも多くの生徒が建設業界に興味を持っていただくとともに、この業界に入職していただく一助となることを期待するものである。

- 1 日時 令和2年10月29日(木) 10:00～12:00
- 2 場所 サンレイラ岐阜 3F 大ホール  
(岐阜市藪田東1-2-3)
- 3 対象者 OBサポーター(一般社団法人岐阜県建設業協会会員企業に所属する若手技術者)  
県内工業系高校教員、  
一般社団法人岐阜県建設業協会労働副委員長
- 4 参加者 26名
- 5 意見交換テーマ
  - 1 「建設業の魅力とその『PR手法』及び早期離職を防ぐために必要なこと」
  - 2 「『働き方改革』の実現に向けて取り組むべきこと」
  - 3 「『Withコロナ』の時代で建設業界がすべきこと(できること)」
- 6 主催 一般社団法人岐阜県建設業協会
- 7 参加者の意見
  - ・国や県において様々な建設業リーフレットが作成されているが「現場監督」の仕事を紹介したリーフレット等があると、現状を理解しやすい。
  - ・昭和の良い所(躰・礼節等)は、残しつつ、平成時代に育った子については、長い目で見る必要がある。(早期離職に繋がらない)